

3 題材の目標及び題材構想「幼児と仲よくなるう」 発展（7 時間完了）

題材の目標

- 幼児の生活や遊びに関心をもつことができる。（関心・意欲・態度）
- 幼児の心身の発達を考え，幼児とのかかわり方の工夫ができる。（工夫・創造）
- 幼児の発達の特徴に応じた話し掛けや接し方ができる。（技能）
- 幼児の生活について学んだ知識を生かし，これからの自分の生き方を考えることができる。（知識・理解）

段階	各過程のねらい	生徒の学び	教師支援
発見	<ul style="list-style-type: none"> 幼児に適した遊びやおもちゃのよさに気付き，幼児との触れ合いに対して関心を高めることができる。 <p>おもちゃや体をつかった遊びで実際に遊んでみて，幼児と上手に触れ合うために自分なりの方法を見付ける。</p>	<p style="text-align: center;">幼児と上手に触れ合うにはどうしたらよいだろう 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手作りのおもちゃを作ろう・・・電池じかけ，音が出る，動くおもちゃ ・絵本の読み聞かせをしよう・・・しりとり，絵本の読み聞かせ，紙芝居 ・体を動かして触れ合おう・・・1対1の遊び，グループ遊び 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児とのよりよい触れ合い方を見付けるために，実際に遊びを体験したり，資料で調べたりする。 <p>（評）よりよい触れ合い方に気付き，幼児との触れ合いを工夫しようという関心が高まったか。（学習プリント）</p>
確認	<ul style="list-style-type: none"> ・自分にできそうな触れ合い方法を具体的に考え，準備することができる。 <p>各自で工夫して作る。</p>	<p style="text-align: center;">準備しよう 2～4</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>手作りのおもちゃを作ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カラフルな色で角を丸くしたパズルを作ろう。 ・手触りのよい物を作ろう。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>絵本の読み聞かせをしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役になりきって，読み聞かせをしよう。 ・オリジナルのお話を作って，喜ばせてあげたい。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>体を動かして触れ合おう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しっぽ取りのように運動量の多い遊びをしよう。 ・はないちもんめのようにみんなで楽しめる遊びにしよう。 </div> </div> <p style="text-align: center;">幼児は、どんな反応を示すかな。幼児と遊びたいな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な材料や自然の材料をうまく生かし，前時に得たヒントを基に，工夫するよう指示する。 <p>（評）自分なりの工夫が見られるか。（活動の様子）</p>
追究	<ul style="list-style-type: none"> ・準備してきた方法で上手に幼児と触れ合うことができる。 <p>なるべく多くの幼児に楽しんでもらう。</p>	<p style="text-align: center;">幼児の笑顔を見に行こう 5～6</p> <p style="text-align: center;">準備した方法で触れ合い，幼児と仲よくなるう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作ったおもちゃで幼児がとても喜んでくれて，作ったかいがあった。 ・壊れないように丈夫に作ったが，幼児が丁寧に使ってくれた。 ・絵本の読み方で，音を変えたら幼児が喜んでくれてよかった。 ・幼児と鬼ごっこをして遊んだ。時間がきても，幼児に「もっと」とせがまれてうれしかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標をもって触れ合うように励ます。 ・準備してきた遊びが幼児の発達段階を考えたものであったか確認しながら触れ合うように指示する。 ・その場に応じた触れ合い方ができるように支援する。 <p>（評）上手に触れ合いができているか。（活動の様子）</p>
拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの学習を通して，自分を見つめることができる。 <p>自由な形式で，思いをまとめる。</p>	<p style="text-align: center;">幼児との触れ合いから学んだことをまとめよう 7</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>保育士の姿から，笑顔で接することが大切だと分かった。将来に役立てたい。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>幼児がよい環境の中で育つように，私たちにもできることを見付けたいな。</p> </div> </div> <p>自分も家族や地域の人，保育士や先生に支えられて大きくなってきた。大変なこともあったと思うが，自分をここまで育ててくれた人達に感謝したい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの自分の生き方を考えるために，幼児との触れ合いから学んだことをレポートにまとめる。 <p>（評）自分の生き方について考えを広げることができたか。（レポート）</p>